資料 1 – 2 Grafsec

平成30年10月10日(水)

利用者視点の啓発と次世代技術者の育成

~中小企業対策と若年層の育成の取り組み~

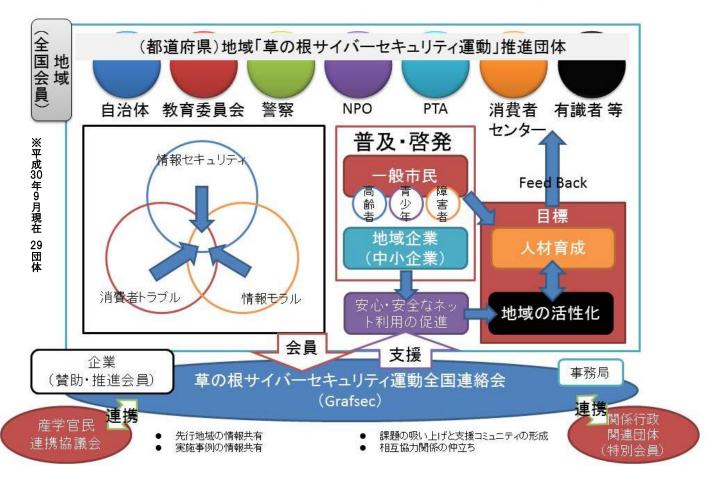
一般財団法人 草の根サイバーセキュリティ運動全国連絡会 (Grafsec) 常務理事・事務局長 吉岡良平







Grafsecの取組み



● 助成事業、少額支援制度

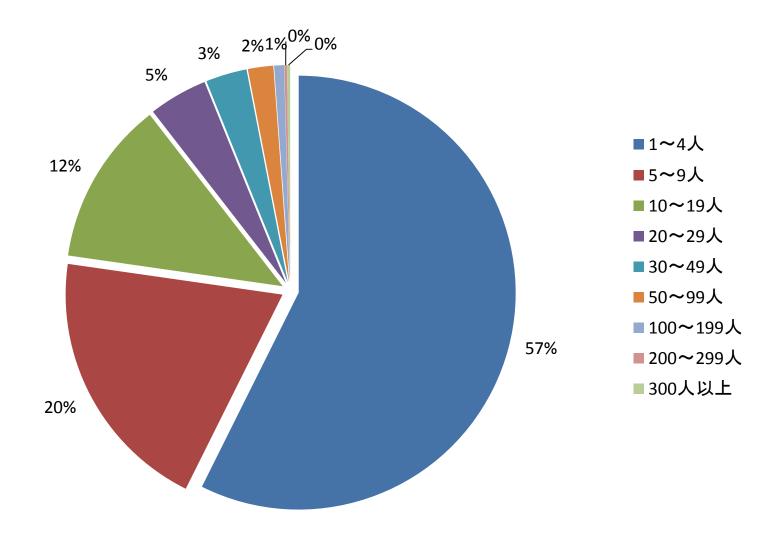
地域に則した啓発を実践するために必要な費用を助成し、地域の啓発を促進します。

- 地域支援活動
 - 地域啓発を行うための研修講師の派遣や、地域啓発団体設立のための支援を行ないます。
- 地域活動組織間の交流支援地域で活動する団体を招き、関係行政、団体との交流や最新のテーマに関する講演等を通じて、地域啓発活動の興隆を図ります。



中小企業へのセキュリティ啓発

中小企業対策は小規模事業者対策





小規模事業者の課題

- ・企業の約90%は従業員20人以下の事業所
- 事業所としてのセキュリティ対策の不備
 - OS、ウイルス対策ソフトの最新化の未徹底
 - ID/PWの管理の不備
- ・個人端末と業務端末の区別
 - 業務用端末でのプライベート利用
 - プライベートとオフィシャルな情報の混在
 - 機密情報の棚卸しができない
 - 情報管理が行き届かない

サプライチェーンにおける課題

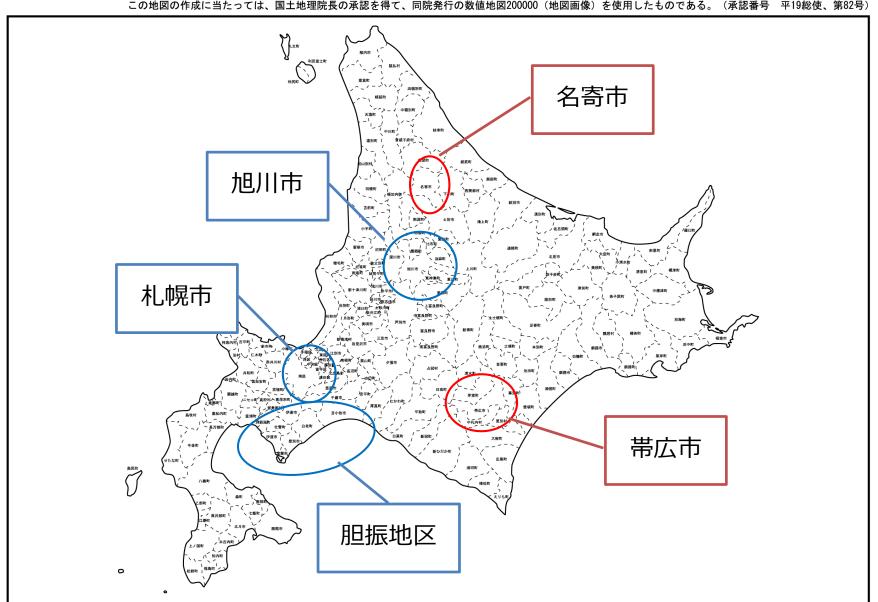
小規模事業者の従業員 = 個人利用者



Grafsec

全道停電における地域の対応例

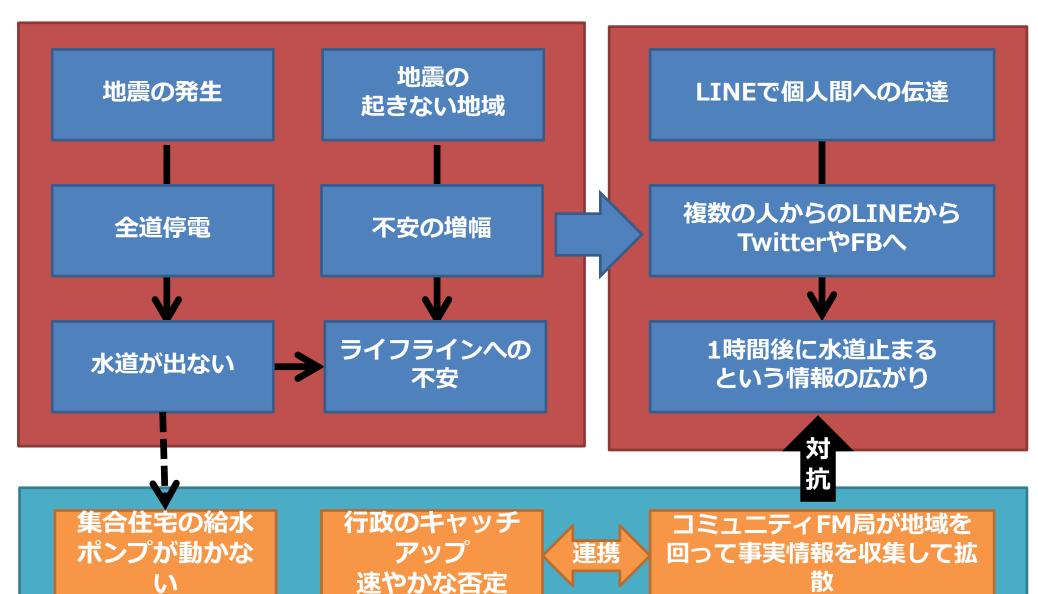
この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図200000(地図画像)を使用したものである。(承認番号 平19総使、第82号)







胆振東部地震の情報と対応



7



全道停電下の情報入手

す 公民館等で

ラジオがない

電池がない

・電気店での

長蛇

利ガ 用シ

全道停電

情報

・不安の増幅

トフォンへの依存

地域に 情報提供 見直





地域の個人利用者への啓発

- 政府や東京での情報が末端に届かない
 - ウォーターフォールでの情報発信の限界
 - 地域特性を踏まえた情報になっていない
 - 情報そのものに気がつかない
 - メッセージの真意が伝わらない

→ラストワンマイルに情報を届ける仕組み作り

- 専門用語に頼らない単純で簡潔なメッセージ
- インフルエンサーの活用(若年、青年層への影響度)
- 地域コミュニティの活用
 - 市町村(教委含む)、消費生活センター、公民館、図書館、 コミュニティFM、ケーブルテレビ、市民報、NPO法人、自 治会等々



若年層の啓発と育成



若年層の課題

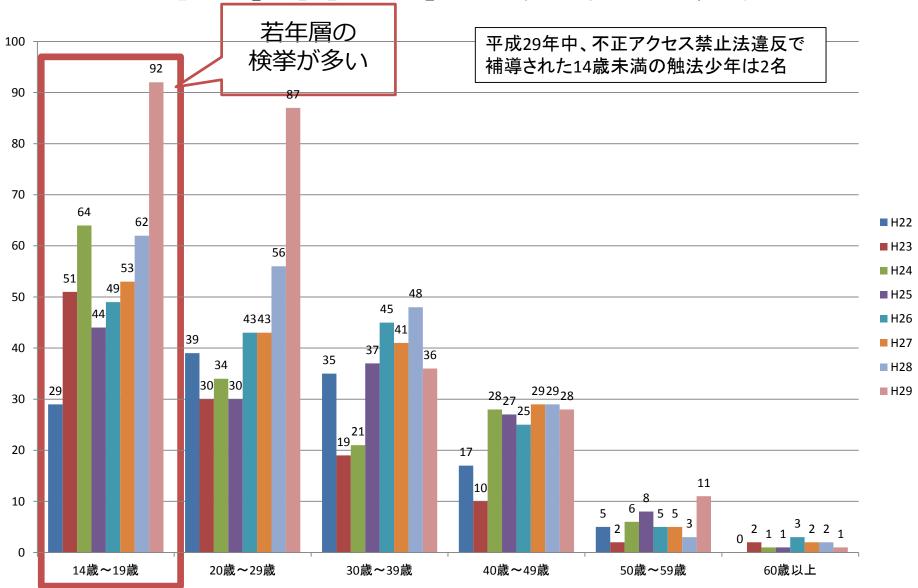
IT**志向**を持った若年層のための取組みは多いが、IT**嗜好や嗜好を志向**に喚起させる取組みが少ない

- 新学習指導要領による情報分野の充実
- 学校教育での指導のレベルを超えたITへの個別指導の場が学校、教員では困難
- 技術を手にした若年層の好奇心と誘惑
- 法律に関する知識の不足
- 嗜好、技術を持った若年層をホワイトな技術者に 育成する手段の必要性
- プロのエンジニアと交流する機会の普及





若年層の不正アクセス



警察庁「平成27年における不正アクセス行為の発生状況等の公表について」及び国会公安委員会総務大臣経済産業大臣「不正アクセス行為の発生状況及びアクセ **Grafset**制御機能に関する技術の研究開発の状況」(平成30年3月22日)のデータより作図

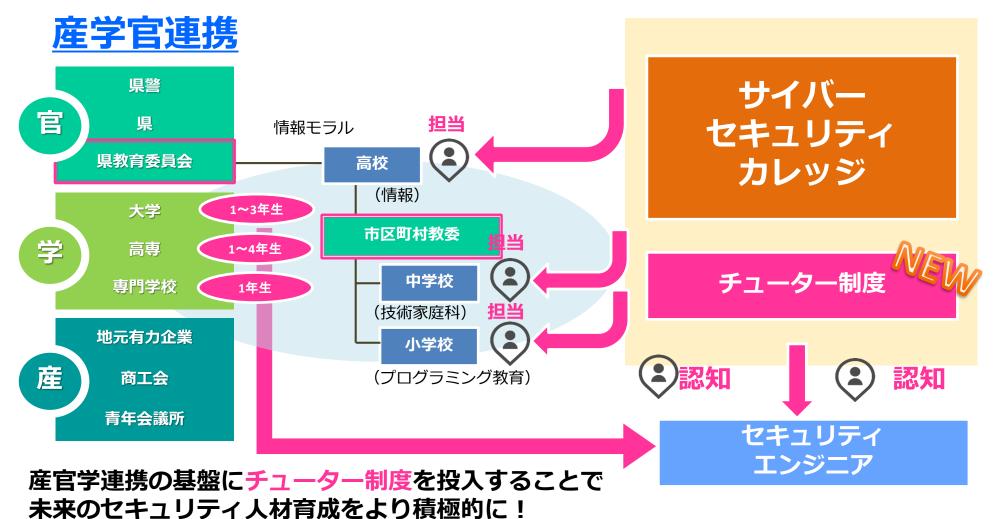
高専サイバーボランティア養成講座(初日/講義)

始	終	表題	内容	詳細
10:00	10:50	模擬講座	小学校高学年向け講座の模擬講座	学校から、LINEなどでのコミュニケーショントラブルや不規則によるトラブルが生じている、という要望を受けて講座を実施
10:50	11:00	休憩		
11:00	12:30	情報モラル(1)	サイバー空間の特徴とネット利用 の日常的な問題	サイバー空間の大きさや、インター ネットが実際の空間とどのような違い があるか。また日常の利用で起きる問 題について深堀
12:30	13:00	昼休み		
13:00	14:20	情報モラル(2)	SNS利用犯罪と対策、セキュリ ティと消費者トラブル	SNSや出会い系サイトによる児童誘引、 性犯罪等の被害の実態把握と防犯。情 報モラル意外に伝えるべきネット利用 の課題
14:20	14:30	休憩		
14:30	16:00	情報関連法	人権とネット利用に関する法令	児童・生徒が安全に安心してネットを 利用するための政策や制度とネット利 用上規制される法的根拠等について解 説

高専サイバーボランティア養成講座(2日目/実習)

始	終	表題	内容	詳細
10:00	10:50	WS (1)	小学生、中学生が知るべき情報モ ラル、セキュリティを考える	小学生や中学生がネットを利用する上 で、知っておくべきインシデントや課 題、知識などを洗い出してみる
10:50	11:00	休憩		
11:00	11:50	WS (2)	45分の講座の内容を考える(1)	洗い出された項目について、軽重をつけてみる。また限られた時間での講座になるので、情報の取捨選択を行う
11:50	12:30	昼休み		
12:30	13:50	WS (3)	45分の講座の内容を考える(2)	(1) で選択した情報に基づき、講座 全体のシナリオを考える。シナリオに 基づき、投影資料の構成を考える
13:50	14:00	休憩		
14:00	15:30	発表	グループ毎に考えた講座内容を要 約して発表	どんなストーリーで、どんな内容で講座を実施しようとするのか、講座内容を要約してグループ毎に発表する
15:30	16:00	総評	発表を受けて、過不足などを補足	発表内容から、エビデンスや理解、説明の仕方、発表方法など、改善するべき点などについて、総評として行う

IT嗜好と志向を育てるチューター制度®



エンジニアやセキュリティの研究者が地元の若年層に対してチューターとして サポートし地元に貢献 かつ セキュリティエンジニアへの理解と信頼を与える

Grange



プチューターとトレーニーの視点rafsec

情報モラルを身に着けな がら技術を学ぶ

チューターの対象

セキュリティエンジニア を知る



プログラミングの授業楽しいな もっとやってみたいな トレーニーの保護者への セキュリティに対する理解

小学校

中学校



ITってなんだろう?

学校では教えてくれないこと

高校



情報科学を学べる大学に 進もうかなぁ

セキュリティエンジニアへ の動機づけ



大学 (1~3年生)

高専 (1~4年生)

専門学校 (1年生)



セキュリティエンジニアって かっこいい

セキュリティエンジニアの育成と開拓

もっと活躍したい!

業務の理解も進んできた!



地元の後輩と IT・セキュリティを通してつながる

教えることで自分への貢献 地元への貢献 次世代の人材育成に貢献 地域の活性化への貢献

Grafsec

16



「社会で活躍するためのICT活用法 ~ 18才成人化を控えて~」

	TIMPE F GIGORIE	
地域	開催日時	会場
札幌	2018年9月16日 (日)	札幌ユビキタス協創広場U-cala(内田洋行)
帯広	2018年9月17日 (月祝)	とかちプラザ
宮城	2018年10月7日 (日)	東北工業大学一番町口ビー
山形 (新規)	2018年9月29日(土)	山形県庁 講堂
石川	2018年9月16日 (土)	金沢大学
長野	2018年9月29日 (土)	安曇野市明科公民館
新潟	2018年8月20日 (月)	NCC 新潟コンピュータ専門学校
茨城(新規)	2018年8月22日 (水)	茨城県立青少年会館
神奈川	2018年10月6日 (土)	学校法人岩崎学園
静岡	2018年9月24日 (月祝)	専門学校静岡電子情報カレッジ
愛知 (新規)	2018年10月21日 (日)	名古屋市中小企業振興会館(吹上ホール)
大阪	2018年9月9日 (日)	大阪ユビキタス協創広場 CANVAS
奈良	2018年9月30日 (日)	帝塚山大学
高知	2018年8月14日 (火)	高知県立伊野商業高等学校
山口	2018年8月10日 (金)	サビエル高等学校
福岡	2018年9月23日 (日)	エルガーラホール
大分	2018年8月26日 (日)	九電ホール
鹿児島	2018年8月18日 (土)	鹿児島大学学習交流プラザ
サミット	2018年11月3日(土)	東京ユキビタス協創広場CANVAS(内田洋行)
最終報告会	2018年12月	内閣府・総務省・文部科学省・予定
4.500		







ご不明な点があればお問い合わせください。

一般財団法人草の根サイバーセキュリティ運動全国連絡会 (Grafsec-J) 常務理事・事務局長 吉岡 良平 yoshioka_r@grafsec.or.jp http://www.grafsec.or.jp/